

令和7年度 国語科 年間指導計画 第6学年

東広島市立高屋西小学校

学期	月	単元名	時数	単元の目標	他教科等との関連
前期	4	たずね合って考えよう	2	答えが簡単に見つからない問いに対して、対話を続けて考えを深めていくことができる。	
		朗読で表現しよう「さなぎたちの教室」	5	中心人物の心情の変化を確かめながら読み、捉えたことが聞き手に伝わるように朗読できる。	
		漢字を使おう 1	1	5年生までに習った漢字を使って、文を書くことができる。	
		社会教育施設へ行こう	2	社会教育施設の特徴を理解し、必要なときに活用することができる。	社会、理科、総合
		意見を聞いて考えよう	4	自分の意見と比べながら、さまざまな人の意見を聞くことができる。	道徳
	5	三字以上の熟語の構成	2	三字以上の熟語の構成について理解し、文や文章の中で使うことができる。	
		筆者の論の進め方をとらえよう「イースター島にはなぜ森林がないのか」	6	筆者が自分の考えを読み手に納得してもらうため、どのように論を進めているか、考えることができる。	
		漢字を使おう 2	1	5年生までに習った漢字を使って、文を書くことができる。	
		情報のとびら：原因と結果	1	原因と結果など、情報と情報との関係について理解し、文や文章を書くことができる。	社会
	6	いざというときのために	5	論の進め方を工夫して、防災についての提案書を作ることができる。	
		文と文とのつながり	2	指し示す言葉や文末表現、主語などに注目し、さまざまな文と文とのつながりを理解することができる。	
		漢文に親しもう	3	漢文を音読して言葉の響きやリズムなどに親しむとともに、漢文を引用しながら考えをまとめることができる。	
		文字の移り変わり	1	日本語の文字の由来や表記の特徴について理解することができる。	
		人物どうしの関係について話し合おう「風切るつばさ」	5	描写をもとに、人物どうしの関係を捉えたいうえで、心情の変化を読み取ることができる。	
	7	漢字を使おう 3	1	5年生までに習った漢字を使って、文を書くことができる。	
		つなぐ言葉の使い分け	1	つなぐ言葉の働きや種類について理解し、意図に合った言葉を選んで文を書くことができる。	
		インターネットでの議論から考えよう「インターネットの投稿を読み比べよう」	5	複数の投稿を読み比べて説得の工夫を考え、自分の意見をまとめることができる。	
		六年生の本だな	1	日常的に読書に親しみ、自分の興味に応じた本を選んで読むことができる。	
	8 ・ 9	いま始まる新しいいま	1	詩を音読し、感じたことや考えたことを友達と伝え合い、自分の考えを深めることができる。	
		心の動きを俳句で表そう	3	表現を工夫しながら、心の動きを俳句で伝えることができる。	
話し合って考えを深めよう		6	お互いの考えを深めるために、立場を明確にしながら話し合うことができる。	社会	
漢字を使おう 4		1	5年生までに習った漢字を使って、文を書くことができる。		
場面に応じた言葉づかい		2	相手や場面に応じた言葉遣いを理解し、適した言葉を選んで使うことができる。		
9・10	表現に着目して読み、考えたことを伝え合おう「模型のまち」	5	情景や心情を描いた表現に着目して読み、物語を読んで考えたことを伝え合うことができる。		
10	漢字を使おう 5	1	5年生までに習った漢字を使って、文を書くことができる。		
	その修飾は、どこにかかるの？	1	修飾する言葉の使い方について理解し、修飾の関係が明確な文や文章を書くことができる。		

後期	10	プラスチックごみの問題について考えよう「『永遠のごみ』プラスチック」	8	「『永遠のごみ』プラスチック」と、二つの資料の内容を関係づけ、プラスチックごみの問題に対する考えを発表することができる。	社会	
		情報のとびら：情報の信頼性と著作権	1	情報の信頼性の確かめ方や著作権について理解し、学んだことを生かして文や文章を書くことができる。	総合	
	11	発信しよう、私たちのSDGs	5	目的に応じて情報を集め、パンフレットで情報を発信することができる。	総合	
		プレゼンテーションをしよう	5	自分たちの学校生活をよりよくするための工夫を考え、資料を使ってプレゼンテーションで提案することができる。	総合	
		漢字を使おう 6	1	5年生までに習った漢字を使って、文を書くことができる。	書写	
		複合語	2	複合語の構成と特徴について理解し、話や文章の中で使うことができる。		
	11・12	物語を読んで、人物の生き方について考えよう「海のいのち」	9	人物の生き方について考え、物語が自分に強く語りかけてきたことを伝え合うことができる。		
	12	漢字を使おう 7	1	5年生までに習った漢字を使って、文を書くことができる。		
		似た意味の言葉の使い分け	1	似た意味の言葉について印象や使い方などを理解し、意図に合った言葉を選んで文を書くことができる。		
		心に残った、この一文	2	本の中から紹介したい一文を探して伝え合う活動を通し、自分の考えを広げ、読書生活を豊かにすることができる。		
		漢字を使おう 8	1	5年生までに習った漢字を使って、文を書くことができる。		
	1	古典芸能への招待状	3	古典芸能について理解し、考えたことを文章にまとめることができる。		
		言葉の移り変わり	1	言葉には時間の経過による変化や世代による違いがあることを理解することができる。		
		宇宙や地球の未来について話し合おう「宇宙への思い」	6	宇宙に関わる人たちの文章を読み、宇宙や地球の未来について考えたことを話し合うことができる。		
		漢字を使おう 9	1	5年生までに習った漢字を使って、文を書くことができる。		
		情報のとびら：未来への情報活用	1	「情報のとびら」で身につけた力を振り返り、見通しを持つことができる。		
	2	どう立ち向かう？ もしもの世界	7	情報を多面的に検討しながら、説得力のある意見文を書くことができる。		
		表現をくふうする	4	比喩や倒置、反復などの表現の工夫について理解し、その効果を考えて文や文章に取り入れることができる。		
		伝えよう、感謝の気持ち	5	話の構成や表現の工夫を考えて、感謝を伝えるためのビデオメッセージを作ることができる。		
	3	成長をふり返って未来へ進もう	6	出来事の意味を考えながら文章を書き、小学校の六年間を振り返る文章を書くことができる。		
		君たちに伝えたいこと／春に	2	文章と詩を読んで、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。		
	年間授業時数		140			